

各種大会結果報告

ステージ発表



第17回ステージ発表が、11月26日(土)に神奈川県総合リハビリテーションセンターの体育館にて開催されました。本格的な寒さが到来し始めのころ、自然に囲まれた環境の中でとても気持ちの良いひと時を過ごせたと思います。

11施設で約100名の利用者が参加し、それぞれが日頃の練習の成果を発揮するため、一生懸命に発表をしていました。また、ステージを含めた会場内は、開会の12時から閉会の15時まで、

とても盛り上がり熱気・歓喜に包まれていました。

今回のテーマ『DEAR FRIENDS～音楽でつながる、心はひとつ～』、合同発表曲『上を向いて歩こう』は、たくさんの候補の中から選ばれました。候補のどれもが“元気”、“未来”、“仲間”、“絆”等々と、全ての人にこうあって欲しいという希望や応援の意味が含まれていると感じました。

また、スペシャルゲストには、兄弟デュオのけい太とこう太(K&K)さんを招待しました。緊張を解して気分を盛り上げるために、ステージ発表前と発表後のスペシャルステージで、素晴らしい歌声やハーモニーを披露していただきました。

その他に、各参加施設作成のパネルや演目(めぐり)はどれも個性的で特徴があり、発表とともにとても楽しめる会場となりました。

文化委員会 よこはまりバーサイド泉 大木

作品展示・販売

第17回作品展示・販売が、1月18日(水)～1月22日(日)の5日間、かながわ県民センター1F展示場にて開催されました。期間中の1月20日に初雪の観測や、雨天という天候状態ではありましたが、310名の方々にご来場いただきました。

展示には13施設が参加して、思い思いの描写を油絵・ちぎり絵等々に表わしたものの、その他に詩、工芸、陶芸、書道、手芸、写真と様々な作品が出展されていました。販売には5施設が参加して、パンをはじめとした洋菓子、小物入れ等々が販売されていました。それぞれの部門での準備や販売は、利用者の方々も参加して、展示や接客を一生懸命にされている姿がみられました。

今回の『自己満祭～みんなのアート、ひとつのハート～』というテーマのとおり、たくさんの個性溢れる思いが込められた作品(アート)が、ひとつのメッセージ(ハート)となり、来場されたたくさんの方々に思いが通じた展示会という印象を受けました。

文化委員会 よこはまりバーサイド泉 大木



身体障害施設協会 各委員会紹介

- ①各委員会の活動目的
- ②主な活動

文化委員会

- ①施設利用者及び職員の文化活動に関する事項の総括
- ②ステージ発表会、作品展示・販売会の開催

卓上競技委員会

- ①施設利用者の卓上競技に関する事項の総括
- ②卓上競技大会の開催

体育委員会

- ①施設利用者及び職員の体育活動に関する事項の総括
- ②ローリングバレーボール大会の開催

広報委員会

- ①協会の啓発活動及び機関誌の発行に関する事項総括
- ②広報誌「みらい」の発行(年2回)

研究研修委員会

- ①身体障害に関する調査研究及び職員研修に関する事項の総括
- ②各種研修会の企画・開催

日中活動検討委員会

- ①各施設の現状と課題を共有し、よりよい日中活動のあり方を探るために設置された特別委員会
- ②研修・発表会の企画・開催

編集後記

◆ 各種大会報告では参加施設・当事者の活躍、思いが伝わってきます。「施設を出て、活動する」。当たり前なのですが、これからも大切にしていきたいですね。

少人数の広報委員会でしたが、各メンバーの協力により、本年度も計画どおり「みらい」を発行する事ができました。寄稿いただいた多くの方々に感謝申し上げます。(佐藤)

◆ 広報委員会の事務局として、何とか一年を終えることが出来ました。投稿に快く応じて頂いた皆様、ご愛読頂いた皆様に心より御礼申し上げます。次年度もなるべく多くの方からのご意見を記事に出来るように紙面作りを考えて行ければと思います。よろしく願い申し上げます。(向井)

◆ 委員になって改めて、身障協の活動を知る機会が増えました。中でも、今年度は東北被災地への派遣活動など、胸に迫るものがありました。様々な活動をご紹介しながら、つながりを大切に、これからも多くの方に読んでいただける広報紙であることを願っております。(野口)

◆ 広報委員2年目の今年も、無事に2号の会報を編集し発行することができました。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。(町田)